

H17地区社協理事研修会 メモ

日時 H17.7.3(日)14:00~16:00

場所 ケアプラザ 2F

内容 下記参照、〔 〕は欠席者

0. 理事研修会開始にあたり

<大家事務局長より>

先に配布の業務分担表に従い本日のグループ分けを実施。

子育て・三世代交流関係：齋藤、山川、〔根本〕〔高相〕針谷、鶴見、熱田、〔松永〕白岩

ボランティア活動関係：松本、鈴木、高岡、〔北口〕伊澤、米山、岩淵、前田

事業部会：武笠、大野、田中、山崎、桜井、金子、阿部、杉川

若葉台地区社協のあり方検討関係：長谷川、〔小村〕川内、西本、堀、南雲、大家

1. 白岩会長挨拶と全体会

配布レシピに従い全体会を14:00~14:20、分科会を14:25~15:25、さらに全体会を15:30~16:00、終了後に「高齢者地域ささえあい事業について」を自治会選出社協理事・高齢者地域ささえあい事業代表(10人)・担当社協理事にて1時間程度を予定。

全体会(基調講演)「社会福祉協議会活動を担うために」・・・白岩会長

社会福祉協議会の変遷...S24に設立、日本社会事業協会・全日本民生員連盟・同胞援護会を統合

社会福祉法をひもとく...福祉サービスの基本的理念(第3条)・地域福祉の推進(第4、109条)

平成12年以降の社会福祉...在宅福祉サービス、社協存在の「あいまいさ」、地域福祉活動推進

若葉台地区福祉活動の推進と地区社協の役割...高齢・少子化、自治会、ネットワーク

2. 分科会・・・若葉台地区社協のあり方検討関係グループ

<長谷川理事より>

今までの社協は何をしていたか。多くの役割が決まっていますが、果たして成果を挙げることが出来たか。前回の研修で問題・疑問点を取上げたが、具体的な方向付けまで出来ていない。昨年から実施してきた社協検討会は今年も継続。

いつも言われる事だが、社協は行事中心でやって来た。

高齢者交流会では参加の枠を広げる努力をしたが...

(旭区19地区の会合で)若葉台社協の評判が良い。何が良いのか良く判らないが、他地区から見れば若葉台は良く見えるらしい。

外向きには良いが、内部で満足できる活動は出来てないと思う。

今の行事に対応できる障害対象者にはよいが、適応出来ない人には何の効果もない。

行事に出ない人と、出られない人は違う。社協は行事にこだわる必要ない。

社協活動は理事が行うが、今の理事は何もしていない。イベントの準備で机を運んで社協活動をやったと自己満足しているだけ。もっと住民の目となり耳になり、住民が何を望んでいるかを真剣に考え行動する時。

高齢者が目を輝かせることは何か？昔の話？川柳？書き物...生きがいになる支援とは？これも福祉活動の一端であり、行事とは直接関与しなくても住民が参加できる。

この活動は直接本人にあたらなくてもネットを介して情報入手可能。情報を文章にすることで本人の生きがいに出来る。

年々、足の悪くなる高齢者が増える。それに透析が加わると悲惨、いま該当者が困っているのは経済的問題が一番。タクシー代が大変。行政の出来ない穴埋めを社協ノコノコはやっている。しかし道路交通法が改正、それが出来なくなる。

社協は事業部門として活動するため‘NPO’取得が必要。社協活動を維持継続できる。子育てささえあいは素晴らしいが、何をしようとしているのか？若葉台で子供を預ける場所が必要では？やるからには金が必要。

永らく社協を担当していても地に足のついた活動をしている実感がない。

5年前に発行した若葉台社協の冊子、この素晴らしいマニュアル、どれだけの人に読まれているか？むなしい気がする

若葉台の住民人材銀行は出来ないか？賛助会員制度はその主旨を含んでいたが社協フォローがなく、行事遂行の為に一部の人だけを協力員に絞り込みオカシクなった。

社協活動の手段(体験)として始めた行事がいまや目的になった。

住民は何を不安に思うか？何をしたいか？に対して、いま着実に対応する時。

地域ささえあいとは？ケアプラと社協との関わりは？上手く機能すれば社協は不要か？

社協は行事を絞込み、もっと地に足のついた活動(事業)に方向付けしないと住民から浮き上がってしまう。自治会に戻る。

(ボランティア募集では人が集まらない)NPO にすれば13人の理事が必要、専任の担当(事務・経理)の常設が要るが若い人材の確保が可能。商店街の手足となり事業が可能。会員登録した高齢者に対して話し(社協の問診)を聞いてまわるのも事業に…ビンテージにノコノコ限定の依頼あり。

3. 全体会・・・分科会の討議内容の発表

<事業部会：武笠理事より>

孫子老の日の参加者(老人)にもっと若葉台在住者を増やす策が必要。内容もややマンネリ化。

チャリティバザー、売れ残りが多くなり一考を要す。

<子育て・三世代交流部会：斎藤理事より>

<ボランティア活動部会：松本理事より>

メンバーが(松本理事を除き)全員新任理事で当事者およびボランティア出身で日常なんらかの形で活動している。

<若葉台地区社協のあり方検討部会：長谷川理事より>

行事主体の社協活動から如何に脱却するかが課題。地に足のついた活動(事業)が出来ていないのではないか。行事も大切であるが、三大大行事で年間活動が終るのは情けない。若葉台社協は外向きには評判が良いと言われている。何が良いのか良く判らない。ノコノコの会も今後継続が危ぶまれている。早急にNPO化を図る。検討部会は今後も出来れば2ヶ月に一回の打合せを重ねる。多くの理事の参加を希望する。

4. 高齢者地域ささえあい事業について

(自治会選出社協理事、高齢者地域支えあい事業代表、担当社協理事)

提出資料に基づき各地域活動状況の発表を行った。

以上 文責:西本理事